

平成25年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年12月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 シベール

コード番号 2228 URL <http://www.cybele.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐島清人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 本田政信

TEL 023-689-1131

四半期報告書提出予定日 平成25年1月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第1四半期の業績(平成24年9月1日～平成24年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第1四半期	780	△6.2	△78	—	△79	—	△54	—
24年8月期第1四半期	832	△1.9	△35	—	△43	—	△77	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第1四半期	△3,037.50	—
24年8月期第1四半期	△4,269.07	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第1四半期	4,237	63.7	2,697	63.7		
24年8月期	4,120	67.6	2,786	67.6		

(参考) 自己資本 25年8月期第1四半期 2,697百万円 24年8月期 2,786百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
25年8月期	—	—	—	—	—
25年8月期(予想)	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,953	6.6	69	148.0	69	252.5	30	—	1,660.39
通期	3,900	6.9	183	99.6	185	124.0	88	—	4,870.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有  
 ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却の方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年8月期1Q	18,068 株	24年8月期	18,068 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年8月期1Q	— 株	24年8月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年8月期1Q	18,068 株	24年8月期1Q	18,068 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	8
4. 補足情報	9
(1) 生産及び販売の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の月例経済観測によりますと、世界経済の減速傾向や日中関係の悪化などの外需要因やエコカー補助金の終了などを受け、連続して景気判断を引き下げられ、「弱めの動きとなっている」とされました。当社の事業が依存する個人消費につきましても同様に判断が引き下げられ、やはり「弱い動きとなっている」とされております。

このような厳しい経営環境の下、当社では引き続き「菓子店は街のオアシス」をテーマに地域社会になくてはならない存在を目指し、経営活動を行なって参りました。

引き続き好調なパン部門においては、絶え間ない新商品の投入と店舗毎に「パン祭り」を順次実施し、売上増に努めました。店舗政策としましては、平成24年10月、首都圏屈指の高級住宅街として知られる東京都世田谷区玉川にラスクの専門店「麦工房 玉川高島屋S・C店」を新規出店し、首都圏での存在感を増すとともに高級イメージの醸成に努めております。また、商品政策として、冬季限定のハイブリッド商品である「つぶつぶ苺チョコラスク」を前年より2ヶ月早く投入し、主力商品ラスクの売上回復に努めて参りました。

これらの取り組みにかかわらず、全社売上高は通信販売を中心とするP I S事業が振るわなかったことから、前年同期に比べ6.2%減少し、780百万円となりました。

損益面につきましては、売上高が減少したこと及びそのため売上原価率が若干上昇したことから、営業損失78百万円(前年同期は営業損失35百万円)、経常損失は79百万円(前年同期は経常損失43百万円)となりました。四半期純損失につきましては特別損失が無くなったことから損失が縮小し、54百万円(前年同期は四半期純損失77百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

総資産は4,237百万円となり、前事業年度末に比べ116百万円の増加となりました。主に現金及び預金73百万円、たな卸資産18百万円、売掛金17百万円が増加したことによるものであります。

##### (負債)

負債合計は1,539百万円となり、前事業年度末に比べ205百万円の増加となりました。主に短期借入金150百万円、未払金39百万円の増加によるものであります。

##### (純資産)

純資産は2,697百万円となり、前事業年度末に比べ88百万円の減少となりました。これは、四半期純損失の計上54百万円、剰余金の配当54百万円の実施及びその他有価証券評価差額金が20百万円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年8月期の業績予想につきましては、現時点では、平成24年9月28日に公表致しました内容に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴ない、当第1四半期会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	223,937	297,166
売掛金	70,617	87,800
たな卸資産	91,342	109,465
その他	51,784	75,544
貸倒引当金	△1,326	△1,671
流動資産合計	436,355	568,305
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,872,832	1,848,854
機械及び装置(純額)	160,536	154,990
土地	1,097,820	1,097,820
その他(純額)	175,574	175,041
有形固定資産合計	3,306,763	3,276,706
無形固定資産		
投資その他の資産	75,615	69,917
投資有価証券	74,540	94,417
その他	228,103	228,213
貸倒引当金	△434	△426
投資その他の資産合計	302,209	322,204
固定資産合計	3,684,588	3,668,828
資産合計	4,120,944	4,237,134
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	96,356	109,774
短期借入金	—	150,000
1年内返済予定の長期借入金	425,768	425,768
未払金	118,244	157,985
未払法人税等	49,091	40,580
賞与引当金	21,000	42,000
ポイント引当金	17,096	16,008
その他	41,731	41,692
流動負債合計	769,288	983,810
固定負債		
長期借入金	528,200	518,708
資産除去債務	31,114	31,257
その他	5,595	5,595
固定負債合計	564,910	555,560
負債合計	1,334,198	1,539,370

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	488,355	488,355
資本剰余金	554,141	554,141
利益剰余金	1,753,013	1,643,928
株主資本合計	2,795,509	2,686,424
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,763	11,338
評価・換算差額等合計	△8,763	11,338
純資産合計	2,786,746	2,697,763
負債純資産合計	4,120,944	4,237,134

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)
売上高	832,440	780,962
売上原価	452,806	439,066
売上総利益	379,634	341,895
販売費及び一般管理費	415,472	420,860
営業損失(△)	△35,838	△78,964
営業外収益		
受取配当金	6	33
受取賃貸料	2,641	2,513
貸倒引当金戻入額	—	7
雑収入	1,546	458
営業外収益合計	4,195	3,013
営業外費用		
支払利息	4,867	3,472
商品自主回収関連費用	6,875	—
雑損失	76	248
営業外費用合計	11,819	3,721
経常損失(△)	△43,461	△79,672
特別利益		
保険解約返戻金	24	—
特別利益合計	24	—
特別損失		
固定資産除却損	21	—
固定資産売却損	—	40
投資有価証券評価損	46,251	—
関係会社株式売却損	621	—
特別損失合計	46,893	40
税引前四半期純損失(△)	△90,331	△79,712
法人税、住民税及び事業税	2,139	2,247
法人税等調整額	△15,337	△27,078
法人税等合計	△13,198	△24,831
四半期純損失(△)	△77,133	△54,881



(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	P I S 事業	M I S 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	261,410	571,029	832,440	—	832,440
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	261,410	571,029	832,440	—	832,440
セグメント利益	27,102	29,287	56,390	△92,228	△35,838

(注) 1 セグメント利益の調整額△92,228千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	P I S 事業	M I S 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	220,549	560,412	780,962	—	780,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	220,549	560,412	780,962	—	780,962
セグメント利益	513	12,182	12,695	△91,660	△78,964

(注) 1 セグメント利益の調整額△91,660千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(自己株式の取得及び自己株式の公開買付け)

当社は、平成24年12月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行なうことを決議致しました。

1. 自己株式の取得及び自己株式の公開買付けの目的

当社は、当社大株主からその保有する当社普通株式を売却する意向のある旨の連絡を受けたため、当該株式が市場で売却された場合における当社株式の流動性及び市場価格への影響、当社の今後の設備投資に向けた資金需要、並びに当社の財務状況等を総合的に勘案し、当該株式を自己株式として取得する事を検討致しました。その結果、当社が当該株式を自己株式として取得することは、当社の1株当たり当期純利益（EPS）や自己資本当期純利益率（ROE）などの資本効率の向上に寄与し、株主の皆様に対する利益還元に繋がると判断致しました。さらに、かかる自己株式の取得を行なった場合においても、当社の分配可能額を考慮すれば、当社配当方針に特段の影響を与えることなく事業を遂行でき、財務の健全性及び安定性を維持できると判断致しました。

自己株式の具体的な取得方法につきましては、株主間の平等性、取引の透明性の観点から十分に検討を重ねた結果、公開買付けの手法が適切であると判断致しました。

2. 自己株式の取得に関する取締役会決議の内容

- |               |                           |
|---------------|---------------------------|
| (1) 取得する株式の種類 | 普通株式                      |
| (2) 取得する株式の総数 | 3,800株（上限）                |
| (3) 取得価額の総額   | 874,000,000円（上限）          |
| (4) 取得する期間    | 平成24年12月28日から平成25年3月31日まで |

3. 買付け等の概要

- |                   |                                  |
|-------------------|----------------------------------|
| (1) 買付け等を行なう株式の種類 | 普通株式                             |
| (2) 買付け等の期間       | 平成24年12月28日から平成25年1月31日まで（20営業日） |
| (3) 買付け等の価格       | 1株につき 金230,000円                  |
| (4) 買付け予定の株式等の数   | 3,800株                           |
| (5) 決済の開始日        | 平成25年2月25日                       |

4. 補足情報

(1) 生産及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	内訳	生産金額(千円)	前年同四半期比 (%)
P I S 事業	ラスク	167,055	97.6
	洋生菓子及びその他焼菓子等	5,887	66.1
	計	172,942	96.0
M I S 事業	洋生菓子及びその他焼菓子等	137,718	95.7
	パン	106,487	98.4
	計	244,206	96.9
合計		417,148	96.5

(注) 1 金額は、製造原価によっております。

2 「洋生菓子」と「その他焼菓子等」は管理上区分が困難であるため、一括して記載しております。

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	内訳	販売金額(千円)	前年同四半期比 (%)
P I S 事業	ラスク	186,083	90.0
	その他焼菓子等	7,094	37.0
	洋生菓子	27,372	77.1
	計	220,549	84.4
M I S 事業	ラスク	155,004	98.4
	パン	153,905	103.0
	洋生菓子	88,986	93.7
	その他焼菓子	76,839	96.8
	料飲	85,675	95.4
	計	560,412	98.1
合計		780,962	93.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。